

自動車部品工業会 環境自主行動計画に 対する2023年度数値実績

(第9次環境自主行動計画の3年目)

2025年4月11日
環境対応委員会
幹事会社：アイシン

＜数値目標＞

項目	環境目標値
2030年度 CO2排出量	・ 2013年度比で46%削減を目指す。 対象は国内事業場のIルギ [®] -起源排出量（Scope1,2）
2025年度 産業廃棄物	・ 最終処分量3.6万トン以下の維持にチャレンジする。 （2000年度比で75%削減に相当） ・ 再資源化率85%以上にチャレンジする。

＜取り組み事項＞

1. 地球温暖化対策

- (1)製品の開発設計段階におけるCO2排出量削減の取り組み
- (2)製品の生産段階におけるCO2排出量削減の取り組み

2. 循環型経済社会の構築

- (1)廃車時のリサイクル性向上への取り組み
- (2)産業廃棄物の削減

3. 環境負荷物質の管理

- (1)製品の開発設計段階におけるCO2排出量削減の取り組み
- (2)製品の生産段階におけるCO2排出量削減の取り組み

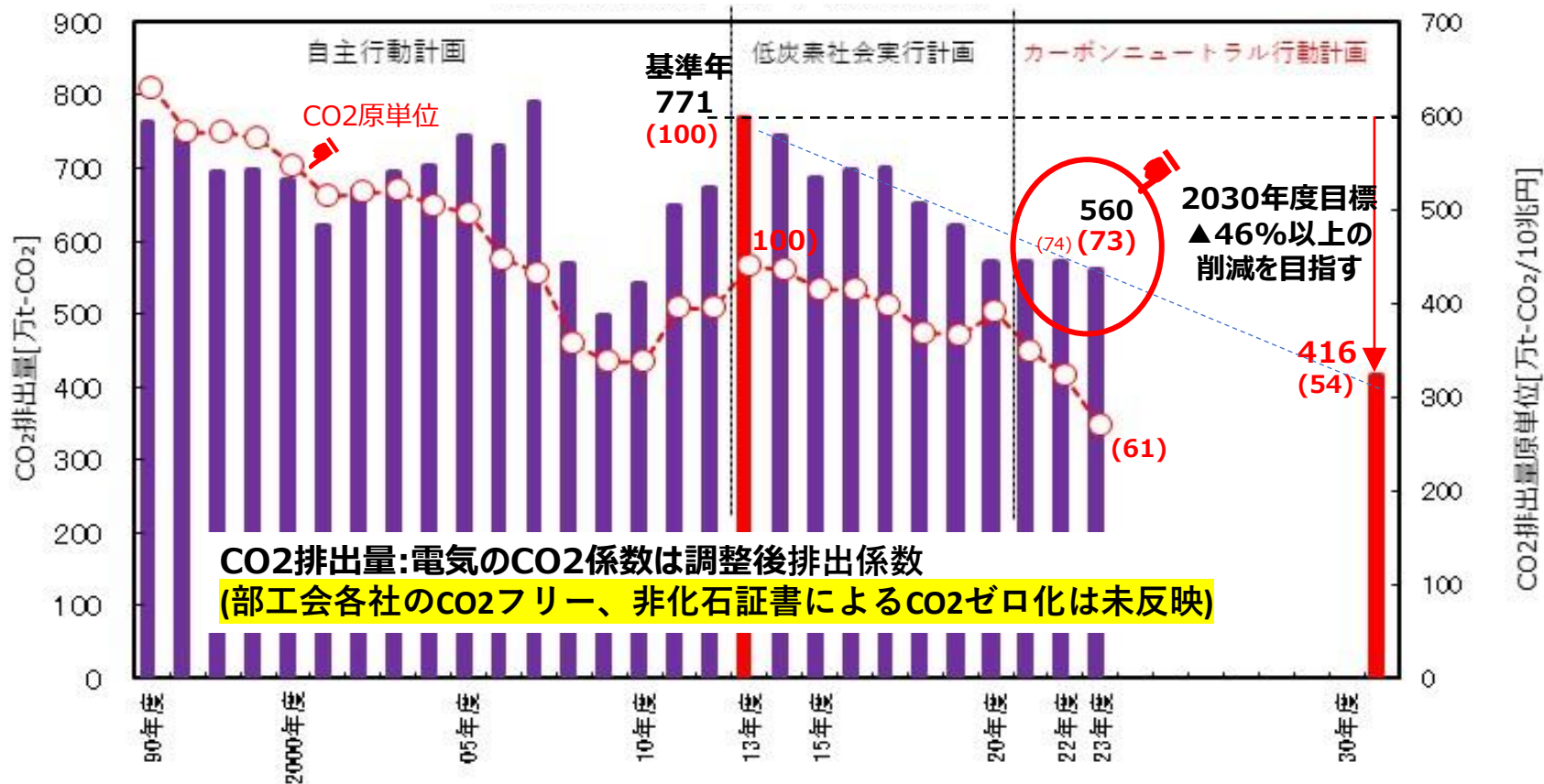
4. 環境効率の追求

5. 環境マネジメントシステムの構築・レベルアップ

6. 海外事業展開にあたっての環境配慮

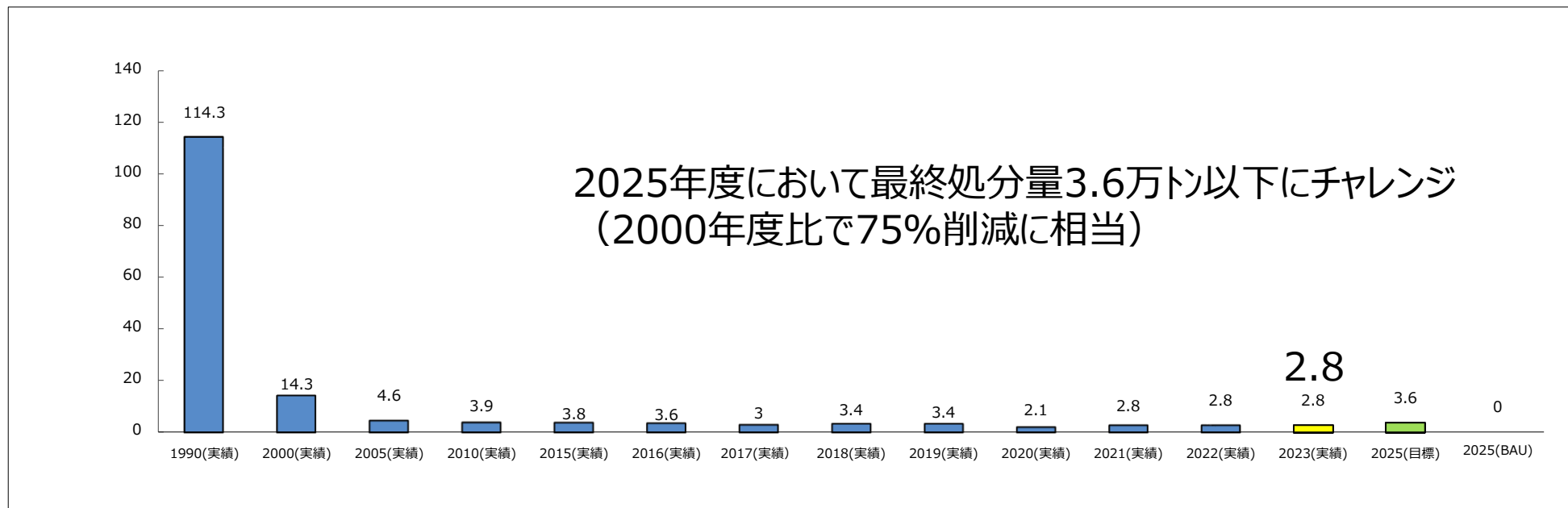
7. 「環境自主行動計画」推進体制

CO2排出量・原単位の推移

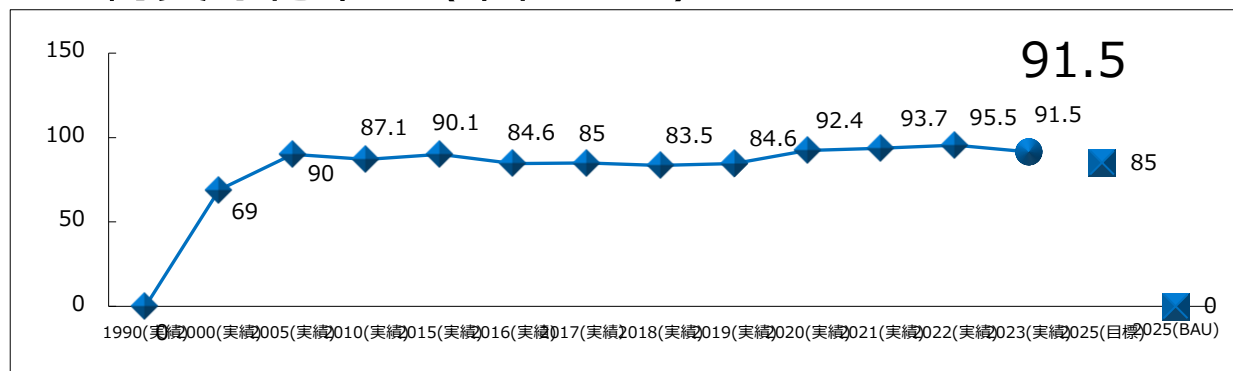


- ・2023年度生産は一昨年の半導体不足・コロナの影響から大幅回復(前年比+17.5%)
- ・CO2排出量は、大幅生産回復および記録的な猛暑による空調エネルギー増の中
各社省エネ努力・再エネ導入などにより前年度比△1.9%(基準年比△27%)
- ・CO2原単位は、前年度比△16.5%(基準年度比△39%)

産業廃棄物最終処分量 (単位：万トン)



再資源化率 (単位：%)



- ・2023年度生産は一昨年の半導体不足・コロナの影響から大幅回復(前年比+17.5%)
- ・産業廃棄物最終処分量及び再資源化率も目標過達を継続中